画像認識工学

第一回レポート課題

201811395 山本雄太

・数学への率直な思い

　単刀直入に言うと、私はあまり数学が好きではない。

　好きではない理由は単純明快で、中高時代から数学が得意ではなかったからだ。数学的に物事を考えることは嫌いではないし、小学校での算数は大好きでむしろ得意科目であった。しかし、”数学”となると、なかなか思うように答えを導き出すことができないことが増え、段々と苦手意識が芽生えてしまった。特に代数分野は苦手であった。方程式を扱うことが苦手なのである。

　そんな私だが、実は確率や統計の分野に限ってはある程度の自信を持っている。理由はおそらく、実生活における実用性を強く認識できている点にあると思っている。私が情報科学類に入学した理由もそうなのだが、私は学問としての数学や科学は好きではないが、何かを為すための”手段”としての数学や科学を非常に愛しているからだ。

　現状の私は、線形代数を実体験をもって”手段”として愛することができていない。情報科学分野において線形代数は“手段”として非常に重要である、ということは何となくは知識として知ってはいるのだが、実際に道具として用いて重要性を理解することができていない。この授業を通して、画像認識や機械学習と線形代数の関係性をある程度の実践を通じて知り、線形代数に対する理解や愛を得ることができることを期待している。